



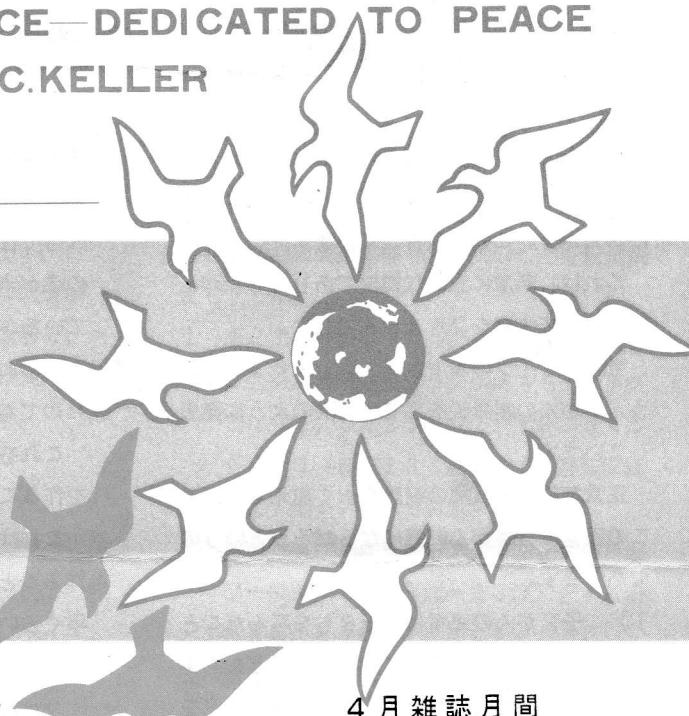
THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARIANS
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE
CHARLES C.KELLER

ロータリアン

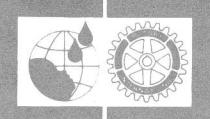
奉仕に結束
平和に献身



4月雑誌月間



PolioPlus



●次回卓語予定者

1988.4.1 (金) 第23回例会
本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング(奉仕の理想)
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員長報告
8. C・Nについて
9. セレモニー(4月誕生・結婚記念日祝)
10. 点 鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015
事務所 〒880-03 佐土原町大字下田島9883番地1

会長 山脇 忍
副会長 江藤 康雄
幹事会 岩切正司
会計佐野保
会報委員長 垂水敏雄

第22回例会記録（昭63・3・25）

会長挨拶

山脇 忍

皆さん こんにちは。 本日は第22回例会でございます。

前回、がんの問題点についてお話ししましたが、今回は特に予防という立場でとりあげたいと思います。

今から200年ほど前、ロンドンのパーシバル・ポットは、ロンドンの煙突掃除人の陰のうちにがんが多いことを報告しています。

これは、非常に立派な業績でありましたが、当時は別に注意をひきませんでした。

当時、ドイツのルドルフ・ウィルヒョウという人ががんの刺激説を立てて、次のように発表しています。

正常細胞にある種の刺激を永く加えると、その正常細胞ががん細胞になるだろうというのあります。

1) 子宮がんの患者は、子どもを産んだことのない人には非常に少い。 子どもを多く産んだ人に割合多いことから、胎児を280日間も子宮の中に持っているので、そういう刺激で恐らくがんができるのであろう。

2) 虫歯を治さないと、虫歯のとがっているところで舌をしおう、ものを食べたり、しゃべったりするたびに刺激される。 刺激されたところにがんができる。

これも一つの刺激であろう。

3) マドロスパイプをくわえている人が、いつも同じところにくわえていると、口唇がいつも同じところを刺激される。 それで、そこがんができる人がある。 これもマドロスパイプの刺激であろう。

このように、いろいろな刺激説に都合のいいようなデーターを集めて、正常細胞でも、慢性の刺激がしおう加わっていると、そこに

がんができるであろうという説を立てたのであります。

然し、それは想像の域を出ておりません。

そこで、東大の山極先生は、兎の耳にコールタールを塗ったらどうであろうか、煙突掃除人の陰のうちにがんが多いのは、大きな煙突の中に入って仕事をするから、下から煤がついて、その煤が非常に取れにくいところに永いことついているからがんができるのだろうと考えて、煤と同じようなコールタールを兎の耳に毎日塗ったのであります。

これを続けること360何日かたって、がんを作ることに成功したのであります。

これは、世界で初めて人工的に動物にがんを作ることに成功した第1例であり、今から80年ぐらい前の話であります。

コールタール中のがんを作る成分の分析は、イギリスのケナウェーによって行なわれ、ベンツパインレンという簡単な化合物を見出しています。 この発見を契機にして、650種類ぐらいのがんを作るがん原性物質が明らかにされています。

チーニトロキノリンという簡単な組成の水虫の葉がありますが、この葉でがんができるということがわかりました。

食品添加物色素にもがん原性物質があるので、こういうものは使ってはいけない、あるいは、使ってもこれ以上使ってはいけないという分量の制限が、厚生省から法律として出されているのであります。

アニリン色素もがんの原因になります。

友禅を染める色素ですが、京都に膀胱がんが多いのは、そのためです。

奈良県に胃がんが多い。それは、茶がゆを朝から晩まで毎日食べているからだと言われています。

茶がゆだけで胃がんになるのかどうかわかりませんが、統計では、熱い物を好む人に多くなっています。

以上のように、がん原性物質というものがありますから、そういうものを永く、ある程度の分量を知らずに摂っていれば、がんになる可能性があります。

それを避けるためには、変化に富んだ食事が良く、メニューに変化をもたらすことが大切で、いかなる食品でも、同一のものを大量に食べ続けることは好ましくないようあります。



幹事報告

斉藤数馬

1. 国際奉仕部会のアンケート提出依頼がきていますので、国際奉仕委員会宮元修一委員長にお願いしたいと思います。

2. 第273地区ガバナーから、次のように、地区協議会開催通知がきております。

○日時 4月16日13:30~17:30

4月17日9:30~14:30

○場所 鹿児島市看護会館・東急ホテル他

○指名出席者 次年度会長・幹事・クラブ

奉仕委員長・職業奉仕委員長・社会奉仕

委員長・青少年奉仕委員長・国際奉仕委員長・会員増強委員長・R-財団委員長

全員出席で申し込んでおきますので、よろしくお願い申し上げます。

3. 本日、ガバナー月信第9号を配布しました。

4. チャーターナイト事務所開設について
清水秀俊園長さんのご厚意により、広瀬共栄幼稚園の会議室をC.N事務所として拝借し、4月1日から開設させていただくことになりました。

事務所電話番号 0985-73-

青少年奉仕委員会より 委員長 垂水敏雄

3月24日14時から、宮崎市でライラ宮崎ロック協議会が開催され、次のことを協議決定しました。

1. 第273地区第10回青少年指導者養成研修会を、宮崎中央クラブがホスト・クラブとなって、5月21日(土)13:00から22日(日)15:00まで、宮崎県総合青少年センターで実施する。
2. 参加対象は、ロータークラブ会員及び一般青少年(18歳~28歳)とする。各RCから5名以上参加させること。
3. 参加申込期限 4月15日
4. 各RC協力金は12,000円とする。



園山謙二特別代表より

3月24日午後6時30分から宮崎市で開きました、第1回合同会議(佐土原C.N.実行委員会と宮崎北RC協力委員会)には、多数ご出席くださいまして、ありがとうございました。

皆さんの真剣な受けとめ方から、大変有意義な会議であったと思います。

これからも協力し合って、チャーターナイトを是非とも成功させたいと決意しております。

どうぞ頑張ってください。

C. N. 実行委員会より 委員長 江藤康雄

C. N. 実行委員会の経過概要は次のとおりです。

- 2月27日 第1回実行委員会
実行委員会組織編成
- 3月19日 第2回実行委員会
各部門の作業分担検討協議
- 3月22日 第3回実行委員会
各部門の分担業務実行計画説明及び協議
- 3月24日 宮崎北RCとの合同会議
チャーターナイトの準備から当日のプログラムまで全般についての指導助言と協議
- 3月27日 第4回実行委員会（予定）
植樹式のあと、合同会議で検討が必要となった事項の協議及び作業分担進捗の確認
- 3月30日 第5回実行委員会（予定）
各部門分担業務の進捗状況及び全体協議事項について全会員が結束して一丸となり、チャーターナイトを乗り切りましょう！！

出席報告

第22回例会 3月25日（金）

会員数	20名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	16名
ホーム出席率	80.00%
メークアップ者数	0名

欠席者名 上田・坂本

宮元・立山

昭63.3.27

創立記念植樹式に当つて

会長 山脇 忍

親睦と友愛を基礎として奉仕の理想を高揚し、究極の目標に、世界の平和を築くため活動する団体として誕生したのがロータリーであります。

わが佐土原ロータリークラブは、そのような活動を実践するロータリアンの集団として、昭和62年10月16日創立し、昭和63年1月8日に国際ロータリーの加盟認証を受け、正式なロータリークラブとして活動しているところであります。

本日は、佐土原ロータリークラブの創立を記念し、併せて社会奉仕活動の一環として、佐土原町が行っている緑化運動に協力し、桜の植樹をいたします。休日にもかかわらず多数お集りいただき、植樹ができますことを心から御礼申し上げます。

この桜の如く佐土原町並びにロータリークラブが雄々しく成長し、私どもの念願であります世界平和、人類の安寧に花を咲かせますよう祈ります。

ビジター（敬称略）

宮崎北 園山謙二 特別代表

" 齋藤芳春 特別代表補佐

西都 大原大

" 安藤秋男

宮崎中央 日高宗一